

グリーンカーテンの作り方



準備編

作り方のポイント

1

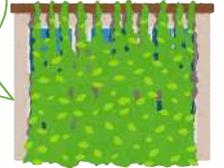
用意するもの

- プランター
(縦×横×深さ=60~70×40×25cm程度の大きめのもの)
- 園芸用ネット(標準サイズは10cm角。窓の大きさにあったもの)
- 種か苗
- 土(②を参照)
- 化成肥料
- 鉢底石
- 支柱(ネットを結ぶ場所がない場合に利用)
- 重し(ネットが風で飛ぶのを防ぐ)
- 結束バンド・ひも(支柱とネットを固定)



プランターは大きさが十分でないと根が張れず、立派なカーテンができませんよ！

台風や強風の時は、固定を補強するか一時的に外して、植物の根元が折れないよう



2

土作り

- ①真砂土(6~7割)、腐葉土(4~3割)、石灰(ひとつかみ)を混ぜ合わせ、1週間ほど寝かせます。
 - ②化成肥料をひとつかみ混ぜ合わせ、さらに2週間ほど寝かせます。
 - ③プランターで育てる場合は、まず鉢底石をプランターの底が隠れるくらい敷きます。
 - ④①②で作った土を③のプランターにふんわり入れていきます。
- 量はプランターの8~9割が目安。※市販の培養土(花と野菜の土)等を使う場合は、①②は行わず、③④のみでOK！

3

ネット張り

- ①ネットの上下に支柱を取り付けます。
- ②支柱を網目に交互に通し、結束バンドで固定します。
- ③ロープなどを使って、上下の支柱を2階のバルコニーや手すりなど頑丈な箇所に固定します。
- ④固定する場所がない場合は、突っ張り棒等を立てます。
- ⑤下の支柱は、レンガなどの重しで固定します。



育成編

1

ツルの摘芯・誘引 **重要！！**

- ①本葉が5~7枚になったら、親ツル(最初に伸びたツル)の先端を2~3cmカット(摘芯)します。そうすると、脇芽(子ツル)が横から伸びてきます。
- ②ツルは上に伸びようとするので、横に広げるように誘引し、ネットに固定します。
- ③子ツル、孫ツルも必要に応じて摘芯を行います。そうすると、脇芽が出やすくなります。

2

水やり

- ①梅雨明けまでは、朝涼しいうちに土の表面が乾いたらたっぷりとあげてください。
- ②梅雨が明け、どんどん暑くなってきたら、朝と夕方に2回あげてください。



3

追肥

- ①植え付けから3~4週間後に追肥します。その後は2週間ごとに粒剤化成肥料をプランター1基に1つかみ程度、根本から離してまきます。
- ②土が固くなってたら軽くほぐしましょう(根を傷つけないように注意)

市民の取り組み

ゴーヤが初心者にも育てやすく◎

御前崎市内で素敵にグリーンカーテンを実施しているお宅をご紹介します。



白羽地区



池新田地区



池新田地区